

令和2（2020）年12月16日

会員各位

日本経営倫理学会
会長 潜道 文子

2021年1月度研究交流例会開催の件（オンライン開催）

冠略 1月度研究交流例会を下記の要領により開催いたしますので是非ご参加ください。
昨年度より JABES の各研究部会より研究活動報告を行っています。今回はガバナンス研究部会からの報告です。また後半では 前内閣府 男女共同参画局長の池永 肇恵 氏からの報告を予定しています。さまざまな社会課題の共有とともに皆さまとの幅広い意見交換の機会にいただければと存じます。是非日程をご調整の上ご参加ください。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、Zoomによるオンライン開催を予定しております。

草々

記

1) 日 時 令和3（2021）年1月30日（土） 14時00分～16時00分

2) 場 所 オンライン開催
(参加申込者へ後日、開催 URL をメールにてご案内いたします)

3) 講演テーマおよび講演者

① 14時00分～15時00分 「JABES 研究部会報告：ガバナンス研究部会」

『新コンプライアンス経営～コンプライアンスの実効性を上げるには制度と運用と経営者資質の三位一体の改革が必須要件～』

今井 祐 先生（日本経営倫理学会常任理事・ガバナンス研究部会長）

② 15時10分～16時00分 「男女共同参画加速の時」

池永 肇恵先生（前内閣府 男女共同参画局長）

報告概要

*報告①：今井 祐（いまい たすく）先生

近時の55件の不祥事件の内75%の41件は引責辞任等の経営者（資質）に係る事件である。下は常に上を見ている。上位の経営者の誠実性と倫理的価値観の水準を見ている。公益通報保護法があるにも拘らず、上が信頼するに足ると思えば通報するが、振り返りに会うと思えば誰も通報しない。これは「経営者に倫理観はあるのか」の経営者資質の問題である。これが如実に出るのは不祥事の経営者謝罪会見である。「逃げる、言い訳ばかり言う、責任をとらない」等である。レバノンに逃亡したカルロス・ゴーンの倫理観はどうであったのか？

*報告②：池永 肇恵先生（いけなが としえ）先生

第2次安倍内閣で女性活躍には一定の進展が見られたが、国際的にみると日本の状況は極めて遅れている。政策・方針決定過程への女性の参画は低く、男女の仕事と家庭の両立は困難な状況にあり、人権を踏みにじる暴力やハラスメントも根強く存在する。男女共同参画推進のための法制度は整備されてきたが、働き方の問題や固定観念が妨げとなっている。また、新型コロナ感染で女性はより深刻な影響を受けている。さらに、令和2年12月に閣議決定される予定の第5次男女共同参画計画にも触れることとする。

4) 参加費 無料

5) その他 *ご出欠の確認を致したく、参加申込用紙（裏面）に記載のQRコード、URL もしくは、申込書に必要事項をご記入の上 FAX または E-mail にて 1月22日（金）迄にお申込ください。

*後日、オンライン開催の URL をお送りします。

以上

《1 月度研究交流例会》へ参加します。

申し込み方法

①（事務局推奨）下記の QR コードもしくは URL より必要事項を記入する



申込フォーム：

<https://forms.gle/kmNQRoRCDnNUo5gT8>

② E - mail : info@jabes1993.org

〈参加申込書〉

氏名	
所属	
E.Mail ※オンライン開催のため に必要となります。 必ず記載をお願いいた します。	
通信欄	

* 1月22日（金）迄にお申込ください。

* 後日、Zoom の URL をお知らせいたします。